

## 2018 年 第 6 回 情 報 交 換 会

日時：2018 年 10 月 24 日（水）

### 【発表内容】

1. 現役学生が開業 山崎侑斗（4年）  
北前横丁に 酒処「KITAMAE」 Open! 【資料1】
2. プロジェクト型応用演習  
「販売実践プロジェクト」報告会（担当：佐藤特任教授）【資料2】
3. 競争型課題解決演習  
『事業開発コンペ』事業説明（担当：倉持准教授）【資料3】
4. 硬式野球部 平成30年度報告 【資料4】
5. 《コワーキングスペース UNDERBAR》  
「Be a Challenger！次世代の若者会議」開催 【資料5】
6. 《地域共創センター》 【資料6～10】
  - (1) 酒田地区消防本部ポスター作成について
  - (2) ～ (3) Forum21 について
  - (4) 平成30年度地域共創コーディネーター養成プログラムについて
  - (5) 共創カフェについて
7. 教員著書紹介 【資料11～12】
  - (1) 三木潤一准教授  
「経済学入門」米本清、宇都宮仁編（みらい）
  - (2) 倉持一准教授  
「CSR白書2018-CRの意義の再確認」（東京財団政策研究所）

次回の情報交換会は 2018 年 11 月 28 日(水) の予定です。

リリース情報に関するお問い合わせ

東北公益文科大学（広報担当）

TEL) 0234-41-1111 FAX) 0234-41-1133

E-mail) koho@koeki-u.ac.jp

2018年10月24日  
東北公益文科大学

## 東北公益文科大学生が 北前横丁に「酒処 KITAMAE」オープン！

酒田市中心市街地のにぎわい創出に向けた新たな核として、2015年10月15日に中町2丁目にオープンした酒田柳小路屋台村「北前横丁」が来月4日（日）で第1期目が終了します。店舗改修を経て新たに12月1日（日）から第2期目がスタートし、**本学4年の山崎侑斗くんが全国の北前船寄港地の地酒が味わえる「酒処 KITAMAE」をオープン**します。

### ★ ポイント

- 本学学生が在学中に中心市街地に飲食店をオープン
- 地方大学生が中心市街地の活性化を図る

### 【開業の背景】

秋田県能代市出身の本学4年の山崎侑斗は、同大の観光ボランティアサークル「酒田おもてなし隊」に所属し、「駅からハイキング」（駅ハイ）の運営・企画を行う中で、培った知識やスキルを生かし、2016年に観光ガイド会社「東北プライド」を立ち上げました。様々な活動をしていく中で、「地域の魅力が何もない」と話す住民の多さに衝撃しました。地元への郷土愛は持っているのにも関わらず、うまく発信できていないと感じ、地元民の郷土愛醸成と地元民と観光客が交流できる場の提供として以前から同市内の中心市街地に飲食店と宿泊施設を開きたいと思っていました。商店街の組合などにも相談したものの、なかなか適地が見つからない状態でした。しかし今回、酒田柳小路屋台村「北前横丁」の第2期目の募集をしていることを知り、資金が豊富でもなく、経験も少ないことから、まずは、現在の人脈やネットワークを最大限に活かしたいと思い、開業する決心をしました。

お問い合わせ

東北プライド 代表 山崎 侑斗

TEL : 090-7328-5583

E-mail : tohoku.pride@gmail.com



# 酒田市柳小路「北前横丁」に 東北公益文科大学の学生が運営する 飲食店オープン！

11/21 リニューアルオープン  
12/1 グランドオープン

店舗名：酒処 KITAMAE

「寄港地の地酒、用意したからみんな“きたまえ〜”」



酒処KITAMAEのロゴマークには、  
「お酒」「北前船」「来給え」の3つの  
要素から成り立っています。

ロゴ制作：東北芸術工科大学 3年  
安孫子 瑞生 さん



東北公益文科大学4年  
東北プライド 代表  
山崎 侑斗

これまで酒田・庄内の魅力を  
多くの方々に発信。大学在学  
中に47都道府県を制覇。  
国内旅行業務取扱管理者、  
日本酒ナビゲーターなどの資  
格を持っている。

## 店主ご挨拶

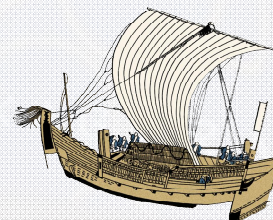
酒田柳小路「北前横丁」で新しくお店をオープンすることになった「酒処KITAMAE」店主の山崎侑斗です。大学入学を機に初めて故郷秋田から酒田へ移り住み、大学で様々な活動を通して庄内・酒田が好きになり、卒業後、観光関係の事業を立ち上げ、第二のふるさとを盛り上げたい！という想いで出店することを決めました。ビジネスの知識は、起業家育成などを目的に山形大学国際事業化研究センターがスタートさせた「EDGE NEXT人材育成プログラム」を受講し、ビジネスプランの練り方や、専門家などから相談を受けました。

昨年、酒田市は「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」が日本遺産の認定を受けました。これを機に、本店舗では、北前船の寄港地の日本酒とそれに合うつまみなどをお客様にご提供します。各地域の地酒をまるで航海しながら飲んで旅を楽しみ、長く時間を過ごして航海（後悔）してもらえたらよいと思っております。ぜひ、皆様のお越しをお待ちしております。



アクセス：山形県酒田市中町2-6-1  
酒田柳小路「北前横丁」内

お問い合わせ  
東北プライド  
電話：090-7328-5583（携帯）  
E-mail：tohoku.pride@gmail.com



2018年10月24日  
東北公益文科大学

## プロジェクト型応用演習 「販売実践プロジェクト」成果報告会

本学のプロジェクト型応用演習「販売実践プロジェクト」（担当：佐藤隆也特任教授）の履修学生12名による成果報告会が下記日程にて行われます。

「販売実践プロジェクト」は、経営ノウハウの一端を販売実践を通じて学ぶプロジェクトで、①現地調査、②経営計画書作成（仕入れ・販売計画、予定損益計算書等）、③販売実践報告書作成、④実績（成果）発表の流れで行います。本年は、販売実践を10月20日「公翔祭」、21日は清水屋1階の一部をお借りして行いました。

### ★ ポイント

- ① 各学生が仕入先の交渉から商品納入、商品陳列、接客マナー等を経験した。
- ② 成果発表会は、外部から専門家を招いて講評をしていただく予定です。

記

◆ 日時：2018年 **11月9日(金) 13:10~14:55**

◆ 場所：東北公益文科大学酒田キャンパス **211教室**

（学生コメント）

自ら仕入れた商品を「売るという姿勢」より「買っていただく気持ち」でお客様1人ひとりと接して、感謝の思いを伝え、コミュニケーションの大切さを学んだ2日間でした。

お問い合わせ

G-1 研究室 特任教授 佐藤隆也

電話) 0234-41-1281

E-mail:s-ryuya@koeki-u.ac.jp

平成 30 年 10 月 24 日（水）14：00～

## 東北公益文科大学 プロジェクト型応用演習「販売実践プロジェクト」

担当：佐藤隆也特任教授

### 1 授業概要

経営とは売上－費用＝損益です。利益を生み出すプロセスを理解するために、販売実践を実施しました。10月2日（土）は「公翔祭」で、10月21日（日）は酒田中心市街地でのイベント「さかた大繁盛ハロウィンまつり」においてマリーーン5清水屋さんの1階フロアをお借りして、それぞれに売場コーナーを設置しました。

授業プロセスは、①現地調査、②経営計画書作成（仕入・販売計画、予定損益計算書等）、③販売実践報告書作成、④実績（成果）発表です。

マネジメントの基本原則 P(計画)－D(実行)－C(評価)－A(改善) サイクルの実践です。

### 2 スキルの育成方法

実際店舗内で販売実践を行なうためにはいろいろなスキルが必要です。例えば、ディスプレイスキル、接客スキル等です。どのように工夫したら利益を獲得することができるか身を持って知ることが人財育成のポイントといえます。

### 3 学生が取り組んだこと

履修学生 12 名が、各自販売したい商品を選び、その企業と仕入交渉し、取引条件などを決めて、商品を納入し、販売現場で陳列や POP 貼付、接客マナーの経験をしました。

### 4 販売実践の様子

「公翔祭」



「マリーーン5清水屋1階フロア」



2018年10月24日  
東北公益文科大学

## 競争型課題解決演習(事業開発コンペ)事業説明

倉持准教授担当「競争型課題解決演習(事業開発コンペ)」では、駅前再開発で整備されるホテルの宿泊プラン等について、学生がチームを作って企画提案を競います。

このたび、授業の中で学生が関係者から直接事業説明を受け、質疑応答を行う機会を設けることとなりました。

### ★ポイント

- ・この授業では、9名の履修者が①ロゴコンセプト②宿泊プラン③販売促進の3点について、新たな公共(コミュニティ)性に配慮した企画提案を行います。
- ・今後、12月6日(木)の中間発表会を経て、1月17日(木)最終発表会で成果を報告する予定です。

### 記

○日時：平成30年 **10月25日(木)13:10~14:55**

○会場：東北公益文科大学酒田キャンパス 教育研究棟 202 教室

(酒田市飯森山三丁目5番地の1)

○内容：

1. 株式会社月見 代表取締役社長 白旗 夏生 様のお話
2. 再開発施行者 光の湊株式会社 担当者の説明
3. 酒田市 企画部 都市デザイン課 担当者の説明
4. 学生との質疑応答

お問い合わせ

教務学生課

電話) 0234-41-1116

2018年10月24日  
東北公益文科大学

## 硬式野球部 平成 30 年度活動報告

本学硬式野球部が所属する南東北大学連盟秋季リーグ(1部)が10月8日(月)、全日程を終了。本学は第3位でした。秋季リーグの表彰選手に本学から2名が選出されました(詳細は以下)。

また、10月15日から16日にかけて行われた同連盟新人戦では、決勝で日本大学工学部を6-5で破り、新人戦初優勝を遂げました。

### ◆平成30(2018)年度戦績

- ・南東北大学野球連盟新人戦(10/15~16) 初優勝



- ・南東北大学野球連盟秋季リーグ(1部)(8/25~10/8) **第3位(Aクラス)**  
 ~ベストナイン(外野手)・盗塁王~ 2年・中野 滉之介(石川県・遊学館高等学校出身)  
 ~ベストナイン(三塁手)・打点王~ 1年・三浦 拓人(大分県・大分高等学校出身)
- ・南東北大学野球連盟春季リーグ(1部)(4/7~5/6) **第4位**  
 ~ベストナイン(捕手)・新人王~ 1年・伊東凛太郎(大分県・大分高等学校出身)

### ◆秋季リーグ(1部) ベストナイン選手コメント



中野 滉之介選手

\*中野選手コメント  
リーグ前半は思うように打てず苦労したが、後半は調子が出てきて自分のめざすプレーができた。(来季の目標は)個人としては、悔いのない試合をし、個人成績を残すこと。チームとしては、神宮大会に初出場できるよう貢献していきたい。



三浦 拓人選手

\*三浦選手コメント  
素直に嬉しかった。春のリーグ戦で同じ高校出身のチームメイトがベストナインに選ばれていたの、自分も獲りたいと思い頑張った。来季の目標は、やはり神宮出場。秋季リーグでは相手に先制されて負けてしまう試合があったので、勢いで負けないようしっかりと冬に力をつけたい。

本件お問い合わせ  
入試事務室  
電話) 0234-41-1117

2018年10月24日

東北公益文科大学

## Be a Challenger! 次世代の若者会議

コワーキングスペース UNDERBAR では、全国で活躍する大学生を講師とする講演会「Be a Challenger! 次世代の若者会議」を連続で4回開催しています。

10月27日および28日には、難民支援活動を行う学生と現役最年少で銚子観光大使に就任した学生を講師に迎え、自身の経験や今後の抱負、失敗談などを語っていただき、新しい発想や考え方、実践の方法を学びます。

講演後には、グループディスカッションや交流会、懇親会を行う予定です。

### ★ ポイント

- ・東北公益文科大学 4年生の山崎侑斗<sup>やまざきゆうと</sup>さん（コワーキングスペース コンシエルジュ）が講師選定やイベント全体のコーディネート役を務めており、講師もコーディネート役もともに学生となる点。

○日時、講師：

(1) 10月27日（土）15:30～17:00

やまなか えみり  
山中 咲美里（聖心女子大学4年） ※難民問題と向き合う

(2) 10月28日（日）15:30～17:00

いずみ だいすけ  
和泉 大介（獨協大学4年） ※学生で観光大使

○会場：コワーキングスペース UNDERBAR（酒田市飯森山 3-5-1 公益研修センター2階）

○対象者：一般市民、学生

○参加費：無料

○申込み：電話またはフェイスブックからお申込ください。

電話：0234-41-6901（コワーキングスペース UNDERBAR）

フェイスブック：<https://www.facebook.com/events/381701442368583/>

お問い合わせ

地域共創センター

電話) 0234-41-1115



1. 公益大生と酒田市消防本部共同での女性消防職員募集のポスター作成

【資料 6】

2. «FORUM21»2018 年度 短期語学留学報告会

～アメリカ(コネチカット・クレイトン)～【資料 7】

3. «FORUM21»2018 年度 短期語学留学報告会

～ロシア・アイルランド～【資料 8】

4. 平成 30 年度地域共創コーディネーター養成プログラム

「ファシリテーション・グラフィック」特別講座【資料 9】

5. 共創カフェ について【資料 10】

お問い合わせ

地域共創センター

TEL : 0234-41-1115

Email : kyoso@koeki-u.ac.jp

## 2018年度 FORUM21・共創カフェ今後の計画

### 1. 2018年度開催企画テーマ

#### <FORUM21>

①【報告会】「短期留学報告会」(10月31日、11月14日開催予定)

本学の短期語学留学の成果を学生自身が市民に報告する。

②【講演会】「能楽宝生流白水会」(12月5日開催予定)

鶴岡では能楽宝生流が盛んであり、戦前より三川泉氏(人間国宝、2016年死去)が白水会という全国組織のもとで指導に来訪されていた。近年、衰退傾向にある能楽を学生に伝える場を設けて学生に興味をもってもらい、能楽の発展に繋げたい。

③【講演会】「死から生を見つめ直す」(12月19日開催予定)

認知症医療・終末期医療に詳しい瀬尾メンタルクリニック院長 瀬尾東伸医師からご講演をいただき、地域の医療・介護の課題や、加齢に伴って生ずる暮らしの課題に対し、どう向き合えば良いかを学習する。

④【講演会】「グリーンケアを知る～悲嘆からの再生に向けて～」(開催日未定)

酒田市民をはじめ医療、精神保健、福祉等の専門家、学生等の幅広い層を対象に、悲嘆からの再生を支援するためのグリーンケアを学び、今後の精神保健活動に役立てることを目的とする。

#### <共創カフェ>

①「学生活動報告シリーズ」(随時開催)

学生の自主活動支援の一環として学生活動の発信機会を増やす目的で共創カフェの枠組みのもと学生活動報告シリーズを開催する。第一弾は直近で地域共創センターに関わりのある学生団体の代表者に集まってもらい共創カフェ形式での活動報告および、意見交換会を実施する。

— 「戸沢村豪雨災害ボランティア」

10月26日(金) 18:30~20:00 場所:公益ギャラリー

— 「西日本豪雨災害ボランティア」

11月2日(金) 15:00~16:30 予定

一緒に消防士体験、ポスター作成してみませんか？



酒田地区広域行政組合

# 消防本部



- 消防職場体験と施設見学
- 女性消防士募集のポスター作成

全国の消防署では女性が消防職員として活躍しています。女性だからこそ、できることがあります。そのことをたくさんの人に知ってもらいたくて企画しました。

酒田市内の消防署で施設見学、職場体験をします。後日数回集まって女性消防士募集ポスターのデザインを考えましょう。消防に興味がある男性の参加もお待ちしております。

説明会日程 平成30年10月11日(木)

12時30分～13時0分

場 所 地域共創センター

主 催 酒田地区広域行政組合

消防本部  
予防課総務係

T E L 0234-61-7119

イラスト・デザインが得意な人、消防の仕事に興味がある人集まれ！



# 公益教養プログラム *FORUM 21*



本講座は課外の教養講座として実施しているもので、学内外の講師による幅広いテーマのプログラムです。入場無料でどなたでもご参加いただけます。

## 2018年度 短期語学留学報告会 ～アメリカ(コネチカット・クレイトン)～

日時：10月31日(水) 17:00～18:30

場所：東北公益文科大学 104教室



お問い合わせ

998-8580 山形県酒田市飯森山 3-5-1 東北公益文科大学 地域共創センター

電話 0234-41-1115 FAX0234-31-2082

# 公益教養プログラム *FORUM 21*

本講座は課外の教養講座として実施しているもので、学内外の講師による幅広いテーマのプログラムです。入場無料でどなたでもご参加いただけます。

## 2018年度 短期語学留学報告会 ～ロシア・アイルランド～

日時：11月14日(水) 17:00～18:30

場所：東北公益文科大学 104教室



お問い合わせ

998-8580 山形県酒田市飯森山 3-5-1 東北公益文科大学 地域共創センター

電話 0234-41-1115 FAX0234-31-2082

平成 30 年度地域共創コーディネーター養成プログラム

# 「ファシリテーション・グラフィック」

## 特別講座



ファシリテーション・グラフィックとは話し合いの内容を絵や図をとり入れて即興で記録していくスタイルです。会議の場で活用できること間違いなし！！です。

講師：稲村 理紗 氏

(まちづくりファシリテーター、山形県地域コミュニティーアドバイザー)

日時：2018年10月27日(土)

10:00~15:00 (昼食休憩1時間)

場所：鶴岡市勤労者会館大会議室 (鶴岡市泉町8番57号)

対象者：どなたでも 定員：40名

\*定員になり次第締め切りとさせていただきます。

参加料：一般1000円

今年度プログラム受講生・大学生・大学院生 無料

申し込み方法：[裏面の申し込みフォーム](#)より

または **FAX**、**E-Mail** にてお願いします。

### ○申し込み・お問い合わせ先○

東北公益文科大学 地域共創センター

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1

Tel: 0234-41-1115 Fax: 0234-31-2082 E-mail: [kyoso@koeki-u.ac.jp](mailto:kyoso@koeki-u.ac.jp)



# ○申し込みフォーム○ 申込締切：10月24日（水）

**※定員になり次第締め切りとなります！**

↓ FAX または E-mail よりお申し込みください ↓

[FAX] 送付先 0234-31-2082

下記に必要事項を記入の上、送信してください。

※電話でのお申し込みは受付しておりませんのでご注意ください。



[E-mail] 送付先 [kyoso@koeki-u.ac.jp](mailto:kyoso@koeki-u.ac.jp)

件名を「稲村理紗氏特別講座 参加申込」と記入の上、本文に下記の項目を記載し送信してください。大学よりメール返信がありましたら申し込み受付完了となります。

(氏名)	(所属)
(メールアドレス)	(電話番号)
(住所)	

※ご記入いただいた個人情報は、申し込み受付の確認や緊急連絡の際にのみ使用いたします。

共創カフェ 2018 秋

場所: 公益ギャラリー  
日時: 10月26日(金)  
18:30~20:00

学生活動報告シリーズ第2弾

# 「戸沢村豪雨災害 復旧ボランティア活動報告」

プレゼンター

佐藤 真梨(公益大4年)  
難波 万琴(公益大4年)



お問い合わせ: 地域共創センター



2018年10月24日  
東北公益文科大学

## 東北公益文科大学教員の出版について

# 『 経済学入門 』

本学、経営コース、准教授 三木潤一が分担執筆した「経済学入門」米本清、宇都宮仁編が出版されました。

- ◇ 書籍名：『 経済学入門 』
- ◇ 編 者：米本 清、宇都宮 仁 編
- ◇ 分担執筆者：三木潤一（東北公益文科大学准教授）
- ◇ 発行所：株式会社みらい
- ◇ 発行日：2018年10月20日
- ◇ 教員紹介・著書紹介については別紙

### （書籍概要（株みらいホームページより））

大学等で初めて経済学を学ぶ学生のためのテキスト。経済学の中心的な枠組みに関して、具体例やデータを活用し、身近な視点で学習ができるよう構成するとともに、「COLUMN」や「練習問題」などによって基礎力・応用力がともに高まるよう編集している。公務員試験の準備にも活用できる1冊。

お問い合わせ

広報担当（大学戦略推進室） 池田  
電話）0234-41-1119

教員・著書紹介

東北公益文科大学

三木 潤一

2015年4月に着任し、経済学関係の科目を担当しています。専門分野は、公共経済学・財政学・地方財政論です。私はこれまで、地方公共サービスにおける公共部門と民間部門の役割分担や広域化・大規模化などについて、経済学の視点からごみ処理を中心に研究を行ってきました。民間委託の推進をはじめ、いかに生産性を高めるか、という生産面からアプローチするとともに、費用負担面から、サービスの費用は税と料金のどちらで賄うべきか、といった問題に取り組んでいます。

経済学は単に机上の学問ではなく、現実の複雑な経済現象の本質を理解するために欠かせません。様々な専門科目を学ぶうえでの基礎としても、経済学の基本的な考え方を身につけてもらいたいと考えています。今回分担執筆した以下に示すテキストが、その一助となれば幸いです。

**三木潤一、「市場均衡と経済厚生」、米本清・宇都宮仁 編著、『経済学入門』第4章、みらい、2018年、55-69頁、170頁、175-176頁。**

私が担当した第4章は、第1章から第3章を総括する章であり、市場の価格調整メカニズムと効率性について、これまで行ってきた講義に基づき分かりやすく心掛けて執筆しています。

この機会に、以前分担執筆した研究書についても紹介させていただきます。

**三木潤一、「コモンプール財としての観光資源の管理・運営—日本の地域の取組み事例から—」、長峯純一 編著、『関西学院大学産研叢書(38) 公共インフラと地域振興』第15章、2015年、274-290頁。**

公共財の問題として、自然の景観、温泉、旧跡といった観光資源（共有資源）をコモンプール財という概念で捉えた場合、「共有地の悲劇」として説明される荒廃が懸念されますが、荒廃せずに適切な管理・運営が行われているコモンプール財も多く見受けられます。本稿では、代表的な観光地に対しヒアリング調査を行い、ケーススタディとして観光資源の管理・運営のあり方について検討しました。それぞれ地域の管理主体が、地域の利用者と一体となった観光資源に対する管理・運営ルールを形成し、コモンプール財の外部性の回避を図ることが重要であると考察しています。

2018年10月24日  
東北公益文科大学

## 東北公益文科大学教員の出版について

### 『 CSR 白書 2018—CSR の意義の再確認 』

本学、経営コース、准教授 倉持一が分担執筆した「CSR 白書 2018—CSR の意義の再確認」(東京財団政策研究所)が出版されました。

- ◇ 書籍名：『 CSR 白書 2018—CSR の意義の再確認 』
- ◇ 著者：東京財団政策研究所 CSR 研究プロジェクト
- ◇ 分担執筆者：倉持一（東北公益文科大学准教授）
- ◇ 発行者：公益財団法人 東京財団政策研究所
- ◇ 発行：2018年9月
- ◇ (倉持一 准教授コメント)

「CSR(企業の社会的責任)は、現在の企業経営において欠かすことのできない重要なテーマとなっています。日本のCSR元年と呼ばれる2003年から約15年。CSRは、『やるかやらないか』の段階を過ぎ、『いかにやるか』の段階へと進んでいます。しかし、それは同時に、企業に対して、ある種の戸惑い、悩み、そして、乗り越えるべき課題を突きつけています。

元来、企業は利益追求のために人為的に設立された組織であり、市場に良質で適正価格の商品・サービスを提供することで、我々の社会に貢献してきました。そして、企業は日々、市場の中で切磋琢磨し、自らの持続可能性を高めています。そうした性質を持つ企業が、戦略的なCSRの遂行や適時適切な情報開示などという新たなチャレンジを求められているのです。

本書では、大規模な企業アンケート調査を実施することで、日本企業のCSRの実態を明らかにすると同時に、いくつかの問題点を指摘しました。また、論考のパートでは、企業がいかにしてCSRを推進していくのかのヒントを「外圧と内圧」というキーワードを用いて論じました。

課題先進国とも言われる日本において、企業に求められる役割や期待は(企業が想像する以上に)、大きくなっています。本書は、白書という位置づけのもと、ビジネスパーソンのみならず、CSRに関心のある学習者、研究者にとっても有益なものになるよう構成されています。ぜひ、手にとって読んでいただき、公益性と利益性との統合の追求という、これからの企業経営を一緒に考えていただけたらと思います。」

お問い合わせ  
広報担当(大学戦略推進室) 池田  
電話)0234-41-1119